

作文集4

1. 2013年6月14日、パキスタン政府から2013-14年度予算が発表された。それによると、国防費が前年度比10%の伸びを示している。
2. 昨日の夜、ラーホールからファイサラーバードへ向かうバスが、前から来た乗用車と衝突し、バスの乗客15人が負傷した。そのうち、3人は重傷である。
3. 先日の選挙の結果、パキスタン・ムスリム連盟が下院議会において単独過半数を超える182議席を獲得した。先に招集された下院議会で、ナワーズ・シャリーフ氏が首相に選出された。
4. 東京外国語大学では、約100年前からウルドゥー語が教えられている。その当時は、ウルドゥー語ではなく、ヒンドゥスターニー語部という名前だった。現在は、毎年14人の新入生が入学している。
5. パキスタンでは、憲法で国語をウルドゥー語とすると定められているが、母語としてウルドゥー語を用いている人の割合は7%に過ぎない。そのため多くの人は、自分の母語とウルドゥー語両方を使って生活している。
6. そこは、町でも特に人通りの多い場所だった。ひとりの青年が道ばたで立ちどまったかと思うと、とつぜん大声をあげた。

「地球という星のみなさん。やっと、あなたがたとお会いすることができました。わたしは、うれしくなりません」

通りがかりの人びとは驚いて足をとめ、いっせいにそっちを見た。その青年はおとなしそうな顔つきで、小さなカバンをさげている。生年はにこにこ笑いながら、またもこう言った。

「みなさんといっしょに、この記念すべき日を祝いましょう」

人びとはびっくりして聞いていたが、そのうち、だれかが気がついたように言った。

「あっ、そうか。きょうは四月一日、エイプリル・フールか。冗談を言って他人をかついでもいい日だった。これはうまくやられたな」

それにつれ、ほかの人たちもうなずきあい、おもしろそうに笑った。なかには、手をたたく者もあった。それに答えるかのように青年は頭をさげ、さらに声をはりあげた。

「喜んでいただけて、わたしもやってきたかいがありました。わたしたちの星は文明が高く、平和的です。みなさんのお役に立てるでしょう。これからは、お望みのものがあれば、わたしが連絡して、なんでもとりよせてさしあげます。」

しかし、人びとはもう相手にしなかった。

(星新一著 きまぐれロボット所収「地球のみなさん」より抜粋)